

## YNU研究イノベーション・シンポジウム2020

コロナ禍による変化を経験した社会を考える  
～新たな日常への取り組みとYNUの提言～

新型コロナウイルスの感染拡大により、これまで当たり前だと思われてきた常識や価値観は見直しを余儀なくされ、私たちは、大きなうねりに飲み込まれるかのように新しい価値観に基づく生活様式やビジネスの手法を取り入れていくことになりました。

横浜国立大学は「実践的学術」を希求する研究大学として、人文学・社会科学・理工学の観点からこれまでに蓄積してきた研究資源を活用し、新型コロナウイルス感染症をめぐる現在進行形の諸問題、そして将来の社会課題への対応を志向した研究活動を進めています。本シンポジウムでは、多様な研究者が多様な観点から、新しい社会の予測や対応につき論じます。

2020年

12月21日(月)

13:00～16:40

聴講無料 / 事前登録制

## プログラム

- |             |             |  |
|-------------|-------------|--|
| 13:00-13:15 | 開会挨拶        | [ 横浜国立大学 学長 長谷部 勇一 ]   |
| 13:15-13:45 | 基調講演        | 「多様なリスクへの対応マネジメント技術としてのリスク共生の提言」<br>[ 横浜国立大学IASリスク共生社会創造センター 客員教授 / 学長特任補佐 / NPOリスク共生社会推進センター 理事長 野口和彦 ] |
| 13:45-14:05 | 講演 ①        | 「パンデミック後の都市を支える持続可能なモビリティシステム」<br>[ 大学院都市イノベーション研究院 特任准教授 有吉 亮 ]   |
| 14:05-14:25 | 講演 ②        | 「脳科学と情報テクノロジーの融合～安全で快適な社会を目指して～」<br>[ 大学院環境情報研究院 教授 岡嶋 克典 ]  |
| 14:25-14:30 | 休憩          |  |
| 14:30-14:50 | 講演 ③        | 「ニューノーマルの賑わいを創出するまちづくりのDXに向けて」<br>[ 大学院都市イノベーション研究院長 教授 佐土原 聡 ]  |
| 14:50-15:10 | 講演 ④        | 「コロナショックが変える成熟社会の法制度」<br>[ 大学院国際社会科学研究院 教授 / 学長特任補佐 関 心 佐子 ]   |
| 15:10-15:30 | 講演 ⑤        | 「機械・素材産業にとってのコロナショックとは」<br>[ 大学院工学研究院 教授 中尾 航 ]  |
| 15:30-15:40 | 休憩          |  |
| 15:40-16:30 | パネルディスカッション | 「変わるためのイノベーション、変わらないためのイノベーション」  |
| 16:30-16:40 | 閉会挨拶        | [ 横浜国立大学 理事(研究・財務・情報・評価担当)・副学長 梅原 出 ]  |

## バーチャル展示

イベントプラットフォーム上にて、大学及び後援機関からの情報発信を行います。

## 申込方法

右のQRコードより参加登録をお願いいたします。  
また、12月22日(火)から1月5日(火)までアーカイブ配信を行います。  
アーカイブをご視聴希望の方も、参加登録をお願いいたします。

YNU研究イノベーション・シンポジウム2020

検索



プログラム要旨

**基調講演 「多様なリスクへの対応マネジメント技術としてのリスク共生の提言」**

[ 横浜国立大学IASリスク共生社会創造センター 客員教授 / 学長特任補佐 /  
NPOリスク共生社会推進センター 理事長 野口和彦 ]

新型コロナは、社会の多様なリスクの存在とその連携による対応の難しさを明らかにした。これまでの個々の課題やリスクに対して順次対応していくという手法では、連携した複数のリスクに対して、適切な対応判断が出来ないということである。リスク共生とは、本学が提唱するこの多様なリスクに対するマネジメント手法である。



**講演 ① 「パンデミック後の都市を支える持続可能なモビリティシステム」**

[ 大学院都市イノベーション研究院 特任准教授 有吉 亮 ]

COVID-19 の経験を踏まえ、日本の都市が向かうべき未来と、そこでの人々の活動を支える交通システムのあり方を、持続可能なモビリティシステム研究拠点が取り組む産学連携研究の実践事例から考える。



**講演 ② 「脳科学と情報テクノロジーの融合～安全で快適な社会を目指して～」**

[ 大学院環境情報研究院 教授 岡嶋 克典 ]

私たちは自分の脳を通して世界を理解しており、脳に入る情報をコントロールすることで世界を変えることもできる。本講演では、仮想現実感(VR)等を活用することで安全で快適な未来社会を実現できることを概説する。



**講演 ③ 「ニューノーマルの賑わいを創出するまちづくりのDXに向けて」**

[ 大学院都市イノベーション研究院長 教授 佐土原 聡 ]

都市・地域では、過密の回避と賑わいの両立、屋外空間の積極的活用などの新しいまちづくりの方向性が生まれている。その方向性を今後推し進める、ミクロな人の動きや振舞いまでも把握して適切に人を誘導することが期待されている「まちづくりのDX」に関する研究の企画を紹介する。



**講演 ④ 「コロナショックが変える成熟社会の法制度」**

[ 大学院国際社会科学研究院 教授 / 学長特任補佐 関 心佐子 ]

新型コロナウイルスは、脆弱な人たちを苦境に立たせるとともに、年齢差別の問題等、それらの人たちをめぐる課題を浮彫にさせた。成熟社会の法制度がどのように形作られていくか、コミュニティへの注目等も含めて考えていく。



**講演 ⑤ 「機械・素材産業にとってのコロナショックとは」**

[ 大学院工学研究院 教授 中尾 航 ]

コロナ禍は機械・素材産業にどのような影響を及ぼしたかを検討し、その後、これらの産業界で必要となる考え方を紹介する。さらに、講演者が行ってきた研究から、ひとつの解決策を提言する。



**パネルディスカッション 「変わるためのイノベーション、変わらないためのイノベーション」**

新型コロナウイルスは、社会の変革を加速した。社会課題を解決するためには、社会制度や科学技術等のイノベーションが必要となる。また、その一方、これまでの社会の中で守り続けたいものも存在する。この社会変革の中で、継続したいものを継続するためにもイノベーションは必要となる。また、社会課題はそれぞれ連携しており、個別の専門研究だけでは、施策の選択が難しくなっており、社会の変化の方向性に関しては、社会意思の共有が重要であることもわかってきた。この状況において、本学の研究・社会実装についてディスカッションを行う。

バーチャル展示

シンポジウムプラットフォームから「産学官連携のご案内」「YNU研究拠点のご紹介」「YNU卒業生の声」「後援機関からのご案内」などの展示にアクセスできます。動画メニューもございますので是非ご覧下さい。